



Point of Study

日本銀行が実施する金融政策の目的は何か。また、どのような方法で通貨供給量を調整しているのだろうか。

①金融機関は、預金者への払い戻し準備や金融機関どうしの決済用資金として日本銀行に預金を預け入れている(日銀当座預金)。公開市場操作など、日銀による資金の出し入れは、この当座預金を通じておこなわれる。

②以前は、日銀が市中銀行に貸し出しをおこなうさいの金利(公定歩合)を用いて景気調整をおこなう公定歩合操作や市中銀行が日銀に預金の一定割合を支払準備金として預ける割合(預金[支払]準備率)を上下させる預金準備率操作が中心だったが、現在ではおこなわれていない。

③金融機関どうしが担保なしで短期資金を貸し借りする取引での、期間が翌日までの金利。

④金融機関が貸し出し用の資金を十分にもつように、金利がゼロになっても金融市場に資金を大量に供給する政策。

⑤従来の量的緩和政策をより強化するため、金融政策の操作目標を金利から貨幣の供給量にかえ、長期国債の買い入れ額を増やすとともに、上場投資信託や不動産投資信託なども買い入れ対象に加えることで、貨幣供給量を大幅に増やした。

7 日本銀行の役割

中央銀行の働き

各国には、一般の銀行(市中銀行)とは別に中央銀行が存在する。日本の中央銀行は、日本

銀行(日銀)である。日銀は、「銀行の銀行」として、市中銀行から預金を預かり、必要に応じて、市中銀行へ資金を貸し出す。また、「政府の銀行」として、政府資金の出し入れをおこなう。さらに「発券銀行」として、唯一、紙幣(日本銀行券)の発行を認められている。

1 国の通貨量が中央銀行の保有する金の量とむすびつけられている金本位制度のもとでは、紙幣はいつでも金と交換できる兌換紙幣だった。現在の管理通貨制度のもとでは、紙幣は金と交換できない不換紙幣であり、その供給量は中央銀行が政策的に調整している。

金融政策

日銀は、金融政策によって通貨供給量を調整し、景気や物価の安定をはかる。たとえば、

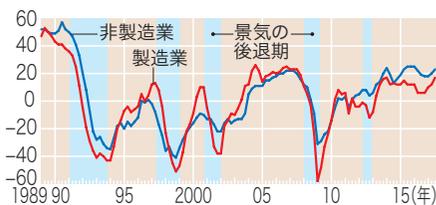
景気が悪いときは、通貨の供給量を増やして金利を下げ(金融緩和)、景気が過熱したときは、供給量を減らして金利を上げようとする(金融引き締め)。その中心的な手段が、公開市場操作(オープンマーケットオペレーション)である。すなわち、日銀は、民間の金融機関との間で国債などを売買して通貨供給量を調整し、政策金利(無担保コールレート)を誘導して、景気の安定化をはかろうとする。

近年の景気後退期のもと、日銀は政策金利を実質0%まで引き下げるゼロ金利政策や量的緩和政策などの金融緩和策を試みてきた。さらに2013年には、消費者物価上昇率を前年比2%まで引き上げることを目標とするインフレターゲット政策をもちこんだ、量的・質的金融緩和を実施した。



クローズアップ 日銀短観

日本銀行は、さまざまな統計を作成している。日銀の作成する統計は、「マネースtock統計」などに代表される金融統計と、「日銀短観」「企業物価指数」などに代表される経済統計に大きく分けられる。このうち日銀短観(全国企業短期経済観測調査)とは、全国から抽出された約1万社の企業を対象に、生産高や設備投資額などの数値(計数項目)と、景気の状態や雇用などに関する企業の判断(判断項目)について、アンケート方式で調査したものをいう。毎年3、6、9、12月におこなわれ、直近の景気動向を示すデータとして、政策決定においても重視される。



業況判断指数(DI)の推移 景気動向に対する大企業からの回答のうち「よい」から「悪い」をさしひいて指数化したもの。この値がプラスのときは、大企業が好景気を実感していることになる。日本銀行資料による。

公開市場操作って何？

経済活動は金利の影響を受ける。

日本銀行はどのように金利を調整しているのだろう。



サキ○「景気の悪化をさけるため、日銀が政策金利の引き下げを決定」とニュースで聞いていたのですが、どういう意味ですか？

先生○日銀が、金利を自分で決めるということではなく、目安になる金利を何%くらいになるように金融市場の資金量を調整して、金利全体を誘導することです。この目安になる金利を政策金利と言って、現在では、**無担保コールレート**という短期金融市場の金利が使われているの。

金利をどうやって誘導するのですか？



先生○金利は、基本的に資金の需給関係で決まるから、資金の需要量に対して供給量が少ないと上がり、供給量が多いと下がる傾向があるの。そこで、**景気が悪いときは、日銀は銀行などの金融機関のもっている国債などを買い入れ、その代金を金融機関に支払って、金融市場へ流れる資金量を増やします。これが資金供給オペレーション。**その結果、金融機関に資金の余裕がうまれて、無担保コールレートが下がります。すると、銀行などは低い金利で資金を調達できるよ

うになって、企業へ貸しだすときの金利も下げることができるのね。

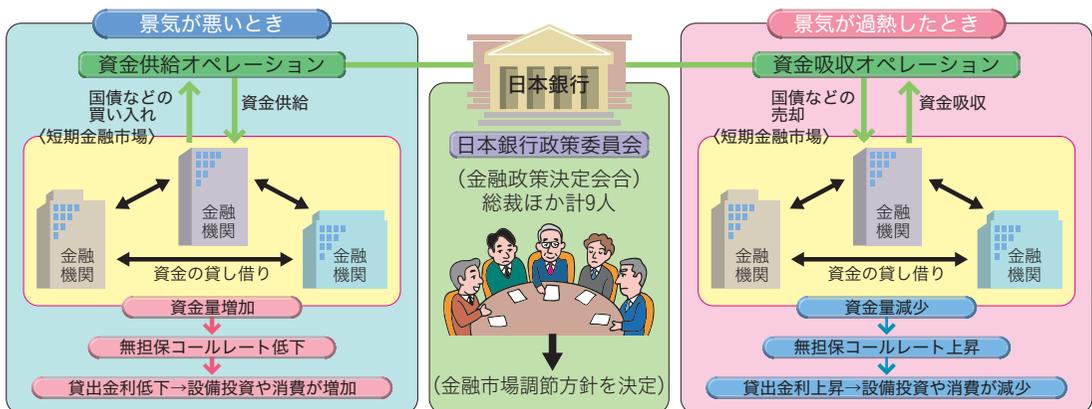
サキ○金利が下がれば、企業もお金を借りやすくなって、経済活動が活発化し、景気の悪化をふせぐことができるわけですね。

先生○そういうこと。逆に、**景気が過熱気味**のときは、日銀は国債などを売って代金を回収し、資金供給量を減らして、金利を高めに誘導します。これが**資金吸収オペレーション**。こういう政策を公開市場操作と言って、現在では、最も一般的な方法なのよ。

サキ○これさえあれば、不況でも安心ですね。

先生○いえ、金融政策を万能視してはいけないのよ。というのは、景気が過熱気味のときは、みんなお金を借りたがっているから、金利の引き上げは大きな効果を発揮するけれど、不況になると、いまお金を借りても利益が期待できないと考えて、低金利にもかかわらず、資金需要が増えないことがある。こうなると、金融政策は効果を発揮できないの。

金融政策と財政政策の適切な組み合わせが重要なのね。



POINT

- ▶ 景気が悪いときは、資金供給オペレーションによって金融市場の資金量を増やし、政策金利を低めに誘導する。これにより企業への貸出金利も低下し、経済活動は活発化する。
- ▶ 景気が過熱したときは、資金吸収オペレーションによって金融市場の資金量を減らし、政策金利を高め